



基礎科学特別研究員制度

ソフィア ラブレンテヴァさん
脳神経科学研究センター
人間認知・学習研究チーム

基礎科学特別研究員制度の大きなメリットの一つは、手厚い支援を提供することで研究環境を整え、先進的な研究プロジェクトに挑戦しやすくしてくれることです。私も、実験資金が不可欠であるという、人を対象にした脳科学の実験を困ることなく着実に進めることができ、充実した研究生活を送っています。また、基礎科学特別研究員制度では他の若手研究者と交流しやすく、他分野の知識を入手し自分の研究プロジェクトで生かしたり、互いの体験談を通して今後のキャリアに有益な情報を交換したりする機会が豊富です。さらに、将来的に研究チームを率いるために必要不可欠なリーダーシップやコミュニケーションの能力を磨くためのセミナーも基礎科学特別研究員向けに開催されており、今後のキャリアにつなげやすい制度になっていることを実感しています。



大学院生リサーチ・アソシエイト制度

小林 柚子さん
開拓研究本部
Kim表面界面科学研究室

博士課程進学と理研での研究、2つの希望を叶えることができたのはJRAがあったからです。JRAに採用されたことで、進学を阻む壁だった経済的な問題をクリアし、事務的なバックアップの元で研究に集中できました。理研では最先端のユニークな研究の数々が展開されており、そこに学生のうちから参加することで、日々優秀な研究者たちと議論しながら研究を進められます。設備が充実しているため、研究の幅も広がりました。また、国際的な環境で研鑽を積めたことで、国際学会等でも自信を持って発表できるようになったと感じています。博士課程を理研で過ごせたことは、将来の財産になると考えています。博士課程への進学を考えている方は、JRA制度を利用して理研で研究することも選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。

理化学研究所

1917年(大正6年)、財団法人として東京都文京区駒込の地で創設された理化学研究所は、長きにわたり、基礎から応用に亘る幅広い科学の研究を実施してきました。日本で唯一の自然科学の総合研究所として、今後も数理学、物理学、化学、工学、生物科学、医科学等の分野の研究で社会に貢献しています。

メッセージ

理研は、国際的に魅力ある研究所として、国内外の優秀な若手研究者を集め、育み、未来の科学を担う科学者を支援します。基礎科学研究を持続的に発展させていくためには、それを担う若手研究者の育成がとりわけて重要です。そのため、理研では学部学生や大学院生、ポスドク研究員、若手PI(研究室主宰者)など、研究者のキャリアを育む一貫した支援を行っています。日本国内はもとより、世界の卓越した研究者たちが集い、つながることで、未来を託すに足る優れた次世代の研究者・技術者が育ち、理研が国際頭脳循環の場として更に飛躍することを目指します。

国立研究開発法人理化学研究所

理事長 **五神 真**

若手研究者育成制度の問い合わせ先

理化学研究所 人事部研究人事課

埼玉県和光市広沢2-1

<https://www.riken.jp/careers/programs/>



RIKEN's programs for Junior Scientists

若手研究者育成制度



理化学研究所



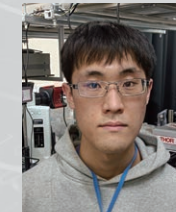
若手研究者育成制度 経験者の声



国際プログラム・アソシエイト制度

カビル サリフ スラジさん
開拓研究本部
多々良物性物理研究室

科学ではコラボレーションが大切です。理研では、セミナーやワークショップ、また国際プログラム・アソシエイト(IPA)などの様々な交流プログラムを通じて、研究者にコラボレーションの機会を提供しています。私は、IPA学生になったことで、自分の研究を様々な角度から見るできるようになりました。この経験は、まさに”巨人の肩の上に立つことができた”と言えます。理研には、落ち着いた環境と、研究に必要な最先端設備が整っています。私が所属する創発物性科学分野だけでも40以上の研究チームがあります。最先端の設備と多くの優秀な研究者が集まる理研は、間違いなく創発物性科学を学ぶのに最適な場所です。



理研スチューデント・リサーチャー制度

小高 敏斉さん
開拓研究本部
田中メタマテリアル研究室

理研スチューデント・リサーチャー制度は、理研の研究者の指導を受けながら大学院博士前期(修士)・後期(博士)課程^{*1}における研究を行うことができる制度です。採用者はパートタイマーとして雇用されます。私はこの制度の下、理研で研究を行っていますが、充実した研究環境の中で研究ができるという点もさることながら、卓越した研究者の方々の研究に対する姿勢やものごとに対する考え方を学ぶことができる点に魅力を感じています。研究室内でのミーティングやディスカッションに加え所内で開催される多くのセミナーやシンポジウムを通して、自身の研究をより広い視点から捉えることができます。修士学生も研究者として雇用してもらえることができ、将来の研究者を目指す大学院生にとって素晴らしい制度であると考えています。

^{*1} 今後、学部最終学年の学生も受入予定

基礎科学特別研究員制度 (SPDR)

科学技術を更に発展させるためには、科学技術のフロンティアを拓くような創造的・基礎的な研究ポテンシャルの充実が不可欠となっています。このような創造的・基礎的研究の推進においては、研究者個人の資質、特に発想の自由な若手研究者の活躍が期待されています。そこで、創造性、独創性に富んだ若手研究者が、理研の研究領域を勘案し、自らが設定した研究課題について、自由な発想で主体的に研究できる場を、理研において提供し、将来国際的に活躍する研究者を育成する制度として、「基礎科学特別研究員制度」を実施しています。自身の裁量で使用できる研究費が支給され、自らが提案した研究課題に対し主体的に行った成果については責任著者として学術雑誌等に公表することが期待されます。

募集分野

数理科学、物理学、化学、生物科学、医科学、工学の科学技術分野で、理研の研究領域に関連性を有する者。

特色

1. 理研を研究実施場所として、自らが希望する研究課題と理研の研究領域を勘案して設定した研究課題を自主的に推進することができます。
2. 受け入れ研究室の所属長から、研究課題を自主的に遂行できるよう支援を受けることができます。
3. 当研究所の各種施設・機器等を可能な限り活用できます。
4. 任期制研究員(3年)

待遇等

- 給与:550,000円/月
- 通勤手当:当研究所規程に基づいて支給
- 住宅手当:当研究所規程に基づいて支給
- 研究費:1,000,000円/年(審査により予算追加が可能です。)

募集選考

毎年早春に公募により募集を行い、各分野における所内外の研究者により構成される委員会にて審査(書類審査、面接審査)、選考が行われます。

詳細は

<https://www.riken.jp/careers/programs/spdr/>
Email: wakate@ml.riken.jp



大学院生リサーチ・アソシエイト制度 (JRA)

本制度は、大学院博士(後期)課程に在籍する柔軟な発想に富み活力のある大学院生を非常勤として理研に採用し、知識・経験豊富な研究者と一体となって研究を展開することにより、理研の創造的・基礎的研究を推進するとともに、将来、国内外で活躍する優れた若手研究者の育成を目的としています。また、研究所と国内大学等との間の協力関係の強化も進めています。2011年度からは、医療分野の基礎研究人材の育成に寄与することを目的として、医学部・歯学部を卒業して医師免許・歯科医師免許を取得した若手研究人材を積極的に採用しています。

対象者

理研と連携協定や研究協定を締結している日本の大学院博士(後期)課程に在籍予定または在籍する者、または、理研研究者と共同研究を実施している日本の大学院博士(後期)課程に在籍予定または在籍する者で、理研で研究指導を受けることについて在籍する大学院から許可を得られる者。

募集分野

数理科学、物理学、化学、生物科学、医科学、工学の科学技術分野で、理研において研究指導が可能な研究。

契約期間及び勤務形態

契約期間は1年ですが、契約期間中に博士号を取得した場合、または大学院を中途退学した場合はその時点をもって契約を終了します。また、所要の評価により最長3年間(標準修業年限が4年の課程の方は4年間)、継続して契約を更新することができます。勤務形態は、毎日5時間の勤務(理研における非常勤勤務形態)です。

待遇等

- 給与:200,000円/月
- 通勤手当:当研究所規程に基づいて支給

募集選考

毎年秋に公募により募集を行い、各分野における所内の研究者により構成される委員会にて書類審査・選考が行われます。

詳細は

<https://www.riken.jp/careers/programs/jra/>
Email: jra@ml.riken.jp



国際プログラム・アソシエイト制度 (IPA)

本制度では、外国籍の博士後期課程学生を受け入れ、理研研究者と在籍大学/研究機関の指導者の共同指導のもと、博士研究を行なう機会を提供しています。IPA学生は滞在費等の補助を受けながら理研に滞在し、理研の優れた研究環境や施設を活用して博士研究を行ない、博士学位の取得を目指します。本制度のもと今後の科学技術の発展に貢献する優秀な人材の発掘および育成を行ない、将来、理研のみならず日本と海外を結ぶ国際的な研究者のネットワークを構築することを目的としています。

対象者

理研と連携協定のある国内外の大学/研究機関に在籍予定または在籍する外国籍の博士後期課程学生。

募集分野

数理科学、物理学、化学、生物科学、医科学、工学の科学技術分野で、理研において研究指導が可能な研究。

受入期間および受入形態

受入期間は原則1~3年。理研との雇用関係はなく、理研研究者の指導のもと研究を行うため本プログラムへの参加者として受け入れられます。

待遇等

- 滞在費:5,200円/日
- 構内住宅を提供(または、月額7万円を上限として宿舍費を実費支給)
- 来所時/帰国時の往復旅費を実費支給(1回分)
- 海外旅行傷害保険

募集選考

海外大学に在籍者は年2回(春・秋)所内募集があり、国内大学進学希望者は大学入試日程に沿って募集します。理研研究者で構成する委員会にて書類選考が行われます。学生を受け入れたい理研研究者が応募します。希望者は、指導を希望する理研研究者に直接コンタクトしてください。

詳細は

<https://www.riken.jp/careers/programs/ipa/>
Email: ipa-info@ml.riken.jp



理研スチューデント・リサーチャー制度 (RSR)

大学院博士前期(修士)課程・博士(後期)課程に在籍する柔軟な発想に富み活力のある大学院生を「理研スチューデント・リサーチャー」として採用し、知識・経験豊富な研究者と一体となって研究を展開することにより、理研の創造的・基礎的研究を推進するとともに、将来、研究者を目指す学生の育成を目的とします。また、研究所と国内大学等との間の協力関係の強化を進めます。今後、学部最終学年の学生も受入予定です。

対象者

1. 日本の大学院博士前期(修士)課程に在籍予定または在籍する者で、博士後期課程への進学を希望するもの、または、日本の大学院博士(後期)課程に在籍予定または在籍する者。
2. 理化学研究所において応募時点で最低1か月以上、希望する受入研究室にて研修生・実習生・研究パートタイマー等を経験した者。

募集分野

数理科学、物理学、化学、生物科学、医科学、工学の科学技術で、理研において研究指導が可能な研究。

契約期間及び勤務形態

契約期間:採用年度の年度末まで。
ただし、所要の評価により修士課程在籍の場合は、最長2年、博士課程在籍の場合は、3年(標準修業年限が4年の方は4年)再契約が可能。非常勤パートタイマー勤務(原則週20時間以内)兼務として研修生の身分も付与。

待遇等

- 給与:理研における研究パートタイマーの時給を準用
- 通勤手当:当研究所規程に基づいて支給

募集公募選考

毎年複数回の所内募集があり、理研研究者で構成する委員会にて書類選考が行われます。希望者は、指導を希望する理研研究者に直接コンタクトしてください。

詳細は

<https://www.riken.jp/careers/programs/rsr/>
Email: riken_sr@ml.riken.jp

